

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権啓発課
	施策	平和意識の普及・高揚		電話番号	087-833-2211
	基本事業	平和意識の普及・啓発		事業実施主体	市
	事務事業	平和啓発推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和意識の啓発・普及を図るため、「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会等の行事を開催する。また子どもたちが戦争を知り、自ら平和について考える場を提供するため、子ども来館学習と連携して、市内の小学校4年生などを対象に平和学習を実施する。なお、平和記念館の閉館に伴い、平成24年3月から収蔵品等の常設展示は休止していたが、28年11月の平和記念館開館により再開している。				
3年度概要	平和記念館の維持管理と平和意識の啓発・普及事業の開催、平和記念館常設展示、平和記念だよりの発行、平和学習の実施（小学校4年生、中学校など）平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、高松空襲写真展、収蔵品巡回展などの開催				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民等の平和意識の啓発・普及

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
平和意識の啓発事業の回数	回	3	6	7	7	7

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2	
平和意識の啓発事業の参加者数	人	目標値	5,200	7,950	8,000	8,050	8,100	
		実績値	1,172	3,469	7,002			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 戦争遺品展の開催場所の変更、長崎市との共催による戦争・原爆被災展や被爆体験講演会の開催などにより、参加者数が前年度に比べ大幅に増加した。		(目標達成度)					(達成度)	87.5%
			30点					
平和意識の普及・高揚に対する市民満足度	%	目標値	19	20	20	20	20	
		実績値	20	19.3	19.1			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 継続した啓発事業の実施などにより、目標値をほぼ達成することができた。		(目標達成度)					(達成度)	95.5%
			33点					

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,746	22,039	22,529	23,002
（事業費）	[円]	9,035	13,693	14,211	14,684
（職員人件費）	[円]	4,711	8,346	8,318	8,318

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

戦争遺品展の開催場所の変更、長崎市との共催による戦争・原爆被災展や被爆体験講演会の開催などにより、参加者数が前年度に比べ大幅に増加した。今後も、啓発事業の充実が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業内容等を検討し、より多くの人々が啓発事業に参加できるようにする。